

福岡県における サイクルツーリズムの取組について



令和6年11月
福岡県商工部観光局観光振興課
(福岡県サイクルツーリズム推進協議会)

1. 福岡県サイクルツーリズム（CT）推進協議会について



- 総会（年1回）と、地域部会（年3回程度）を開催し、地域の実情に応じたサイクルツーリズムを推進。
- これまで、本協議会及び地域部会を通して、福岡県広域サイクリングルート（10ルート。以下「フクテンルート」という）を設定するとともに、サイクリストの受入環境整備、情報発信を実施。

設立の経緯

- ・ H29.5「自転車活用推進法」施行
⇒国を挙げたサイクルツーリズム推進の機運の高まり。
- ・ 個人旅行者のニーズの変化
⇒ **「モノ消費」から「コト消費」**へ
- ・ 自転車愛好家の多い、欧州や台湾からのインバウンド向けの
⇒ **「体験型観光資源」**

設立目的

サイクリングを本県の観光資源の一つとし、新たな観光客を呼び込み、県内の周遊を促すことにより、**各地域での観光消費の拡大**を目指す。
平成30年5月に設立。

メンバー

県、県警本部、国道事務所（福岡・北九州）、
48市町村・23観光協会（令和6年4月現在）、
観光連盟、有識者（アトバイザー、サイクリスト）

実施内容

- 広域サイクリングルートの設定、走行環境調査
- サイクリスト受入環境の整備
- 国内外への情報発信
- サイクルツーリズムを通じた観光消費拡大に向けた検討

市町村会員（48市町村）

北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、朝倉市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、みやま市、糸島市、那珂川市、宇美町、志免町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、東峰村、大刀洗町、大木町、広川町、香春町、福智町、大任町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町、赤村

観光協会等会員（23観光協会等）※法人種別略

大牟田観光協会、久留米市観光コンベンション国際交流協会、直方市観光物産振興協会、飯塚観光協会、柳川市観光協会、筑後市観光協会、豊前市観光協会、小郡市観光協会、太宰府観光協会、古賀市観光協会、ふくつ観光協会、うきは観光みらいづくり公社、嘉麻市観光まちづくり協会、糸島市観光協会、篠栗町観光協会、芦屋町観光協会、岡垣町観光協会、あさくら観光協会、香春町観光協会、田川広域観光協会、みやこ町観光まちづくり協会、八女市観光協会、志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会

1. 福岡県サイクルツーリズム（CT）推進協議会について（地域部会の開催）



- 令和2年度までにサイクルステーション、サイクリストにやさしい宿の整備を進めてきたが、利用者が少ない、旅行消費につながっていないなどの課題が見えてきた。
- このため、令和3年度はサイクリストが訪れたくなるような地域周遊ルートを各地域で研究するワークショップを実施。サイクリストにニーズのある観光スポットや、立ち寄り（休憩）施設などを結ぶ市町村独自のルートを設定。
- 令和4年度からは、圏域ごとに設定していた部会を、ルート造成のステージ別部会に変更。令和3年度の成果を踏まえ、市町村独自のルートをさらに磨き上げ、旅行商品化するなどの出口戦略に向けた検討を行った。
- また、福岡県サイクルツーリズムマップを制作し、市町村のスタンプラリー等の誘客イベント実施を支援。
- 令和5年度もステージ別部会を継続しつつ、共通テーマを設置した上で、ブラッシュアップを行った。

～R3年度

福岡地域部会

- 18市町、8観光協会等

北九州・筑豊地域部会

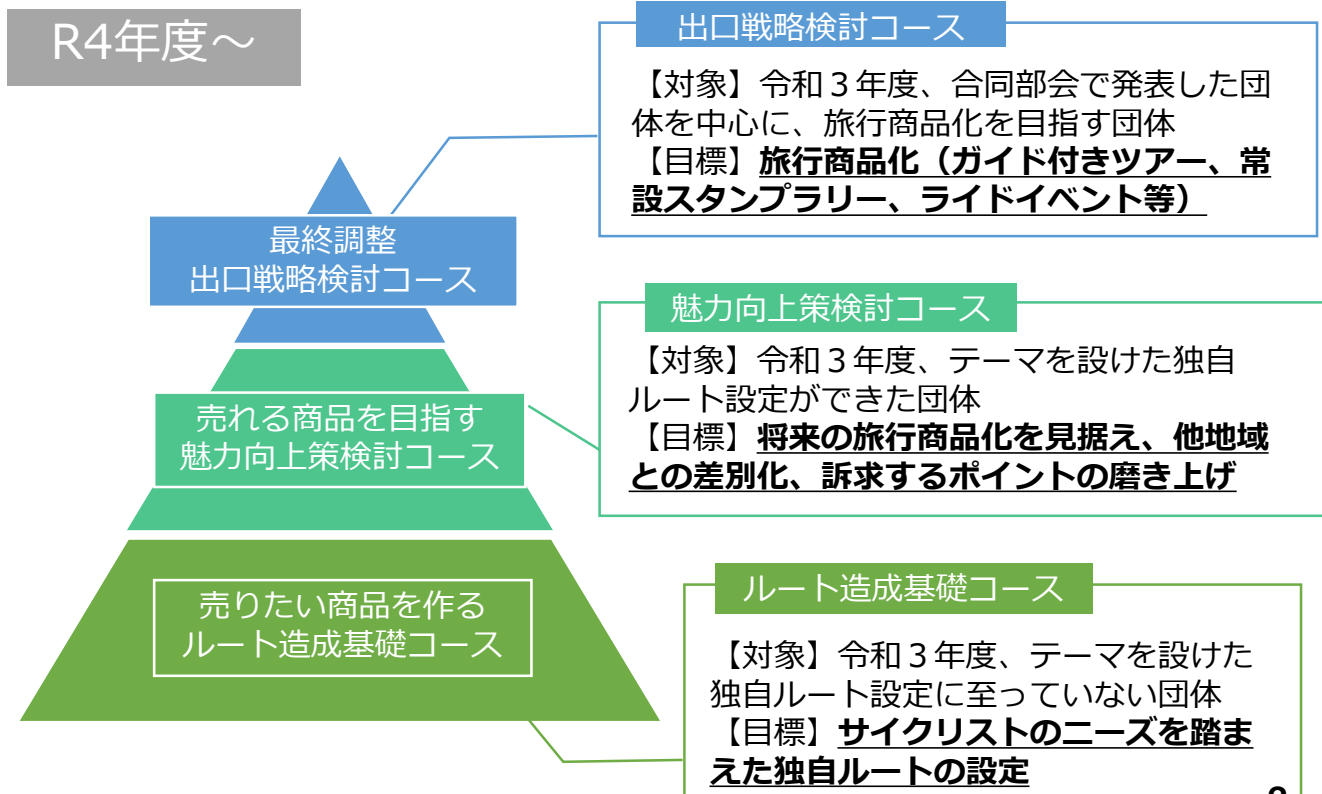
- 16市町村、6観光協会等

筑後地域部会

- 14市町村、8観光協会等

- サイクリストにニーズのある観光スポットや、立ち寄り（休憩）施設などを結ぶ市町村独自のルートを設定。
- 各地区の優秀なルートを合同部会で発表し、旅行会社、交通事業者をコメンテーターとして招き、旅行商品化に向けた助言を受けた。
- 今後、設定したルートを、観光協会等が発行しているパンフレット、マップ等に反映。

R4年度～



1. 福岡県サイクルツーリズム（CT）推進協議会について（事業フェーズ）

- 平成30年5月に設立後、下記の事業フェーズを設定し、事業を推進。
- 令和4年度からは、第1、第2フェーズにおいて整備してきた受入環境、情報発信体制を活かし、旅行商品造成に展開。

第1フェーズ (H30～R1年度)

- ① 広域サイクリングルートの設定
- ② 情報発信体制の構築

第2フェーズ (R2年度～R3年度)

- ① 受入環境の整備
- ② 情報発信の充実
- ③ ルートの走行環境の整備

第3フェーズ (R4年度～)

- ① 商品の造成等の展開
- ② サイクルツーリズムに取り組む事業者の新規参入促進
- ③ 第2フェーズの取組の継続

現在この
フェーズ！

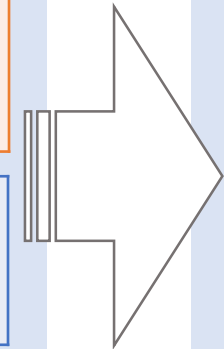
1. 福岡県サイクルツーリズム（CT）推進協議会について（事業体系）

- ◆ 国内外のサイクリストの誘客に向けて、①環境整備、②商品造成、③情報発信 の3つの柱で事業を推進。
- 環境整備の課題：サイクリストに優しい宿・ゲートウェイが不足、レンタサイクルが不足、ガイド人材が不足、フクテンルートの路面標示・案内看板整備を順次実施中
- 商品造成の課題：レンタサイクル事業者が不足、サポートカー（サイクルバス等）事業者が不足、市町村独自ルートが活用できていない（出口戦略）、台湾→福岡県の旅行商品造成の実績蓄積、サイクリングアイランド九州の実績蓄積
- 情報発信の課題：“Cycle & Trail FUKUOKA”公式SNSが商品販売に結びついてない、市町村独自ルートがサイクリストに知られていない、台湾サイクリストに福岡県のサイクリング環境が認知されていない

事業の柱

取組の柱

環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ● フクテンルートの受入環境整備 ● フクテンルートの走行環境整備 ● ガイド人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクルスポットの整備促進 ● レンタサイクルの整備促進 ● 地域のサイクリングイベントの国際化支援 ● JCGAサイクリングガイド検定講習の実施 ● 路面表示・案内板の整備、安全対策の実施
商品造成	<ul style="list-style-type: none"> ● フクテンルートをベースにした旅行商品造成 ● 市町村独自ルート開発・商品化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者参入支援(レンタサイクル・バス等) ● 市町村独自ルートのガイドツアー商品化、デジタルマップ化（スタンプラリー等誘客イベントの基盤づくり） ● 台湾・韓国・オーストラリアからの誘客促進
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSを活用したデジタルプロモーション ● 各種広報媒体での情報発信 ● 市町村独自ルートのデジタルマップ活用 ● 台湾の旅行会社等へのBtoBプロモーション



国内外のサイクリスト
誘客の実現

九州・山口サイクルツーリズムの推進・サイクリングアイランド九州の推進

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備（補助金制度）

	サイクルステーション 整備事業補助金	サイクリストに優しい宿 整備事業補助金	サイクルゲートウェイ 整備事業補助金	サイクルツーリズムを通じた 新たな旅行需要創出支援事業 補助金	地域のサイクリングイベントの国 際化支援事業補助金
事業目的	受入環境整備			事業者参入支援 (商品造成促進)	誘客促進
対象者	市町村、観光協会、 観光関連事業者（※）	宿泊事業者 および民泊事業者	市町村、観光協会、 観光関連事業者（※）	市町村、観光協会、 観光関連事業者（※）	市町村、観光協会、 県内事業者
補助率	補助対象経費の1/2以内				
補助 上限額	1事業者につき1万8,000円	1宿泊施設につき5万円	1施設につき30万円	1件につき100万円	1事業者につき100万円
補助対象 経費	(1) サイクルスタンド購入 費 (2) スポーツ車対応空気入 れ・自転車用工具購入 費 ※(1)は必須。既にサイク ルスタンドを保有している 場合は、(2)のみでも申請 可。	宿泊者向けに (1) 施設内外において、 一般客が立ち入らな い施錠可能な場所で 自転車保管できる 場所もしくは客室に 保管を可能とする場 所の整備費。 (2) 対象整備の設置 ● スポーツ車対応の空気 入れ ● 自転車専用工具	(1) 更衣室等着替えス ペースを提供するた めの設備 (2) コインロッカー等荷 物預かりサービスを 提供する設備 ※整備を行うことでサイ クルゲートウェイの必須 要件（レンタサイクルの 提供等）を全て満たすこ とが必要	(1) バス、レンタカー、鉄 道、船舶等において、 車（船）内外に積載し て移動する事業の新規 実施又は拡充 (2) レンタサイクル・シェ アサイクルの新規実施 又は拡充 (3) レンタサイクル・シェ アサイクルを活用した 新たなサービスの提供 （貸出場所以外への返 却等）	県内開催のサイクリングイベント で以下のすべてに該当するもの。 (1) サイクリングイベントの国際 化を図るもの。 (2) コースが福岡県内を通るもの である。（政令市のみを対象 とするコースを除く。） (3) 100km以上のコースを設定し ている。 (4) 概ね3年以内に、インバウン ドの参加者を全体参加者の1 割以上となるよう目指すこと。
申請期間	令和6年4月8日（月）から令和7年2月28日（金）				

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

◆ サイクリスト等の受入環境の整備（サイクルステーション整備事業）

福岡サイクルステーションとは…

- 道の駅、飲食店、観光スポット等で自転車に乗る人が気軽に休憩やメンテナンスができ、サイクリスト向けに各種サービスを提供する施設。
- 福岡県自転車活用推進計画（平成31年度～令和3年度）のKPIとして200か所整備を目指しており、達成した。（令和5年度末時点：392か所）

補助対象者

市町村、観光協会、観光関連事業者（飲食店、土産店、観光施設等）

補助金額

補助率：補助対象経費の1/2以内
補助上限額：1事業者につき18千円

補助対象設備

- <必須> サイクルスタンド
（サドル引っ掛け型、車輪差し込み型など規格は問いません。）
<任意> スポーツサイクル用の空気入れ
自転車専用工具（タイヤレバーや六角レンチ等）
※サイクルスタンドの設置がない場合は補助の対象外です。



2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

■サイクリスト等の受入環境の整備（サイクリストに優しい宿整備事業）

サイクリストに優しい宿とは…

- 県内を自転車で周遊される方が快適に宿泊するために、客室内への自転車の持込みや施錠可能な自転車保管場所を備え、宿泊者向けの各種サービスを提供する宿泊施設。
- 第2次福岡県自転車活用推進計画（令和4年度～8年度）のKPIとして、60か所の整備を目指し、整備を加速させる。（令和5年度末時点：18か所）

補助対象者

宿泊事業者及び民泊事業者（※政令市に立地する施設は補助対象外）

補助金額

補助率：補助対象経費の1/2以内
補助上限：1宿泊施設につき50千円

補助対象設備

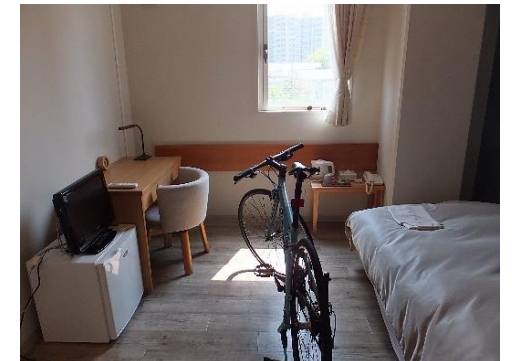
宿泊者向けに下記の整備を行うもの。

- ① 施設内外において、一般客が立ち入らない施錠可能な場所で自転車が保管できる場所
もしくは客室に保管を可能とする場所の整備。
- ② 対象設備の設置
 - スポーツサイクル用の空気入れ
 - 自転車専用工具（タイヤレバーや六角レンチ等）



サイクリストに優しい宿の登録要件

<必須（基本）サービス：無償提供>	<任意サービス>
<ul style="list-style-type: none"> • 「自転車を組み立てた状態で、客室に持ち込みが可能」もしくは、「自転車を組み立てた状態で、一般客の立ち入らない施錠可能な場所（バックヤードや倉庫・車庫等）で保管が可能 • 「スポーツバイク対応の空気入れ」及び「修理工具」の貸出 • 手荷物一時預かり（チェックイン前/後） • 宅配便（自転車を含む）の受取・発送サービス 	<ul style="list-style-type: none"> • 洗濯機/脱水機の貸出またはランドリーサービス（即日/翌朝渡し） • 自転車の洗浄・作業用スペースの確保 • 周辺のサイクリングロードやサイクルステーションの案内 など



2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

■サイクリストに優しい宿整備事業 補助対象となる整備の例（導入イメージ）

■ケース① 室内で保管する場合①

室内用自転車スタンド 3,000円程度
フロアマット（ヨガマット等） 4,000円程度
計 7,000円程度／1台



◎ メリット：必要なときだけ配置できる

1台当たりの費用が少額

△ 懸念点：搬出入時に床や壁を汚さず、傷つけない動線を確認する必要がある



■ケース② 室内で保管する場合②

室内用自転車ラック（2台用） 20,000円程度／2台

◎ メリット：ディスプレイとしての要素がある（写真映え）

△ 懸念点：常時設置するか、都度設置する必要がある
搬出入時に床や壁を汚さず、傷つけない動線を確認する必要がある



■ケース③ 室内で保管する場合③

自転車分解不要の収納袋 20,000円程度／1台

◎ メリット：必要なときだけ配置できる

搬出入時に床や壁を汚さず、傷つけない

△ 懸念点：1台当たりの費用が比較的高額



■ケース④ 室外で保管する場合

屋外ガレージ設置費 200,000円程度

※シャッターの修理等の費用も対象となる場合があります。

ガレージ内設置用サイクルスタンド 15,000円程度

◎ メリット：汚れた自転車でも対応しやすい

△ 懸念点：費用が高額



■フロント等での貸出用工具

空気入れ 2,000円程度

工具セット 8,000円程度

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

■サイクリスト等の受入環境の整備（サイクルゲートウェイ整備事業補助金）

サイクルゲートウェイとは…

- ・ レンタサイクル又はシェアサイクルが利用可能であり、必要な情報や物品が購入できるなど、利用者の快適で安全なサイクリングをサポートする機能が備わった施設。
- ・ 第2次福岡県自転車活用推進計画（令和4年度～8年度）のKPIとして、4か所の拠点整備を目指す。（令和5年度末時点：1か所）

補助対象者

市町村、観光協会、
観光関連事業者（飲食店、土産店、観光施設等）

補助金額

補助率：補助対象経費の1/2以内
補助上限額：1事業者につき300千円

補助対象設備

- ・ 更衣室等着替えスペースを提供するための設備
- ・ コインロッカー等荷物預かりサービスを提供するための設備

※「福岡サイクルゲートウェイ」の必須要件を全て満たさない場合は、補助対象外となります。

サイクルゲートウェイの認定要件



<必須サービス>	<任意サービス>
<ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクル又はシェアサイクルが利用可能 ・ 着替え用スペースの提供 ・ タイヤチューブ、パーツ等の物品販売 ・ フロアポンプ及び工具の貸出 ・ 手荷物用ロッカーの設置又は預かりサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャワー等の提供 ・ 自転車組み立てスペースの提供 ・ ゲートウェイまでの自転車運搬サービス ・ Wi-Fi環境の提供（鉄道・バスなどでの輸送等） ・ ゲートウェイと宿泊施設等間での自転車や荷物の託送サービスの提供

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

■ サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要創出支援補助金（サポートカー等の導入）

- これまで整備を進めてきたサイクルステーション、サイクリストに優しい宿等の受入環境を活かし、サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要を喚起するフェーズに進める必要がある。
- このため、民間事業者が旅行商品の造成を促進するために行う新規事業開発を支援する。

補助対象者

- ① 県内の市町村、観光協会
- ② 県内に本社（個人事業者においては住所）又は営業所を置く事業者

補助金額

補助率：補助対象経費の1/2以内
補助上限額：1事業者につき1,000千円

補助対象事業

サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要を創出すると認められた以下の整備を行うもの。

- a. バス（観光バスを含む）、タクシー、レンタカー、鉄道、船舶等において、自転車を車内外又は船内外に積載して移動可能とする事業の新規実施又は事業拡充
- b. レンタサイクル・シェアサイクル事業の新規実施又は事業拡充
- c. レンタサイクル・シェアサイクルを活用した新たなサービスの提供（貸出場所以外での返却や、返却された自転車の再配置を行うサービスの提供等）

補助対象経費

- ① 工事請負費
 - 事業実施に必要な施設整備にかかる工事費
 - 車両の改造にかかる費用（例：車両の貨物室の拡張、座席の撤去等）
- ② 需用費
 - レンタサイクル用ヘルメット等の購入費用
 - ガイドツアーに用いるトランシーバー、インカムの導入費用



【家康観光「サイクルチャーター」】



【西鉄バス二日（輪行箱の導入）】

■ 地域のサイクリングイベントの国際化支援事業補助金

- ツール・ド・九州を契機に、本県の認知度を向上させ、国内外からのサイクリスト誘客を強化する必要がある。
- 地域のサイクリストイベントの国際化に向け、通訳ガイドの配置やエイドステーションの外国語案内看板設置等、サイクリングイベントの多言語化を支援するもの。

補助対象者

福岡県内の市町村、観光協会及び県内事業者

補助金額

補助率：補助対象経費の1/2以内
補助上限額：1事業者につき1,000千円

補助対象事業

福岡県内で開催されるサイクリングイベントで以下のすべてに該当するもの。

- ① サイクリングイベントの国際化を図るものであること。
- ② 設定されるコースが福岡県内を通るものであること。ただし、北九州市内及び福岡市内のみを対象とするコースを除く。
- ③ 100km以上のコースを設定していること。
- ④ 概ね3年以内に、インバウンドの参加者を全体参加者の1割以上となるよう目指すこと。

補助対象経費

報酬費、共済費、旅費、需用費、工事費、役務費、委託料、使用料及び賃借料補助金、知事が特に必要があると認めるもの。

ただし、1件につき100万円を上限とし、補助対象経費の実支出額と総事業費から当該事業に係る参加料、寄付金その他の収入額を控除した額とを比較して少ない方の額に1/2を乗じて得た額とする。

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

R6.11.18時点

◆ サイクルステーション数

ルート名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
①福岡・糸島	23	9	4	3	1	0	40
②直方・宗像・志賀島	24	10	3	15	4	1	57
③あさくら・太刀洗	30	9	22	4	4	1	70
④久留米・うきは周遊	12	0	4	4	2	0	22
⑤北九州・京築	14	5	2	5	0	0	26
⑥北九州・芦屋	8	1	0	1	0	0	10
⑦筑後周遊	11	2	60	4	0	0	77
⑧豊前・東峰	10	2	0	0	0	0	12
⑨那珂川・大牟田	21	3	1	0	0	0	25
⑩筑豊周遊	21	7	1	25	1	5	60
計	174	48	97	61	12	7	399

◆ サイクルゲートウェイ数

市町村	店舗・施設名
福岡市	Bike is life cafe fukuoka.

◆ サイクリストに優しい宿

市町村	施設名	市町村	施設名
朝倉市	秋月古民家旅館 游	うきは市	きふね
八女市	天空の茶屋敷	久留米市	貸邸 満天の庭
筑紫野市	ノリシコオートゲストハウス	宗像市	グローバルアリーナ
筑後市	MEIJIKAN	久留米市	宿屋 昭
糸島市	うぐいす座 Shooting Star Hostel	飯塚市	いいづかスポーツリゾート ザ・リトリート
宗像市	Tarou's House	柳川市	柳川むつごろうランド
赤村	源じいの森	嘉麻市	sleepy cafe NICO
朝倉市	邸宅ギャラリー井村家別邸 月の離なれ	久留米市	久留米片の瀬温泉 湯元小林
福岡市	ザ・レジデンシャルスイート・福岡	朝倉市	温海基地
宗像市	RoyalHotel宗像	福岡市	ANAクラウンプラザホテル福岡
行橋市	ビジネス&サイクル ホテルベル (ビジネスホテルベル)	うきは市	以久波別邸 虎屋

2. 【環境整備】サイクリストの受入環境整備

■ サイクルガイド人材の育成

- サイクリングツアーを造成するためには、サイクリング技術はもとより、安全・快適にツアーを催行できるガイドが不可欠。
- このため、令和5年度から、一般社団法人日本サイクリングガイド協会に委託し、JCGAサイクリングガイドベーシック（※）以上の資格者を育成する取組を開始。

◆ JCGAサイクリングガイドのクラス認定

JCGAにおける呼称	英文表記	R5	R6
JCGA公認/JCA認定 サイクリングガイド マスター	Master	2	0
JCGA公認/JCA認定 サイクリングガイド エリート	ELITE	0	0
JCGA公認/JCA認定 サイクリングガイド リーダー	Leader	0	0
JCGA公認/JCA認定 サイクリングガイド レギュラー	Regular	3	6
JCGA公認 サイクリングガイド ベーシック	Basic	3	0
JCGA登録 サイクリングガイド アシスタント	Assistant	0	0

※ベーシック認定要件

JCGAサイクリングガイド検定講習を受講し、サイクリングガイドに必要なサイクリング技術・知識・身体能力を一定以上有すると認定された上で、引き続き研鑽を続ける意思のある者

◆ 福岡県サイクリングガイド人材育成事業の概要

R5	R6
【日時】（第1会期）R5.5.10～R5.5.11 （第2会期）R5.6.14～R5.6.15 【会場】福岡市ヨットハーバー会議室	【日時】（第1会期）R6.7.9～R6.7.10 （第2会期）R6.9.3～R6.9.4 【会場】福岡市ヨットハーバー会議室

第1会期・第2会期の各2日間の計4日間で開催（+自主学習30時間）

（主な内容）

- ・ 交通法規の座学
- ・ ガイド技術の座学
- ・ パンク修理の実技
- ・ 講習ルートの実走
- ・ 検定試験 等



2. 【環境整備】サイクリストの走行環境整備

■ 広域サイクリングルート of 走行環境整備

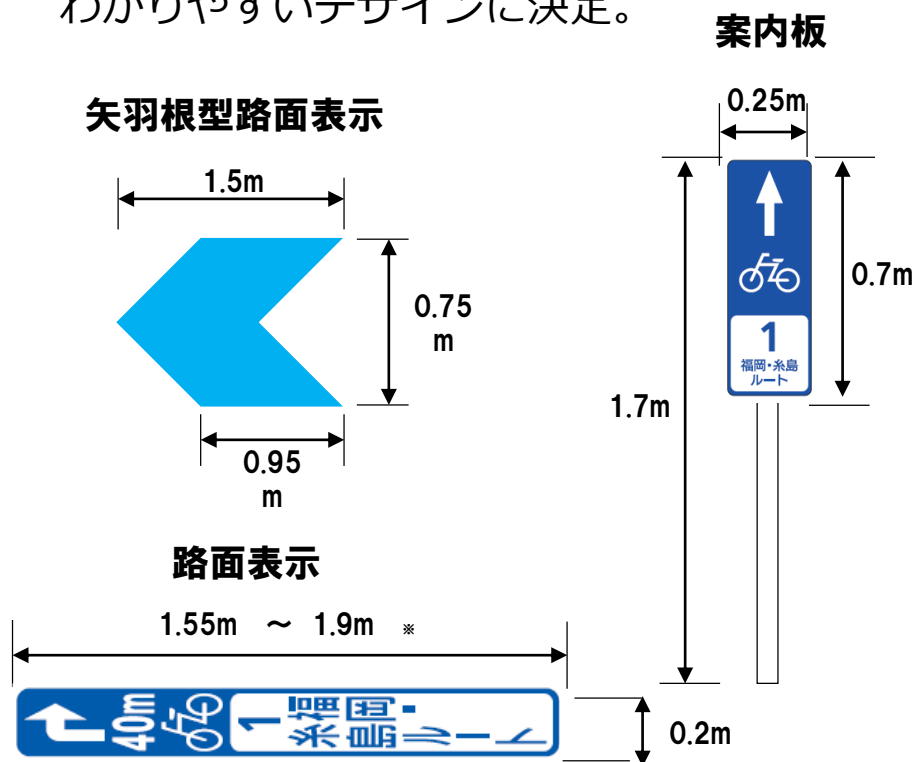
- 広域サイクリングルートの安全で快適な走行環境を確保するため、順次各ルートの案内表示及び安全対策を実施することとしている。
- ナショナルサイクルルートの指定に向け、九州一周ルート沿線を優先して整備。
- 県管轄区間（政令市を除く市町村を含む）を順次整備しつつ、国、政令市（北九州市、福岡市）に協力を要請。

道路管理者調整会議の開催



路面表示及び案内板の決定

全国の事例等を参考に、外国人が見てもわかりやすいデザインに決定。



※表示内容により長さが異なります。

広域サイクリングルートの整備状況

ルート名	県管轄区間整備完了予定
①福岡・糸島	R4年度
②直方・宗像・志賀島	R3年度
③あさくら・太刀洗	R6年度
④久留米・うきは周遊	R3年度
⑤北九州・京築	R6年度
⑥北九州・芦屋	R6年度
⑦筑後周遊	R7年度
⑧豊前・東峰	未定
⑨那珂川・大牟田	未定
⑩筑豊周遊	未定

2. 【環境整備】サイクリストの走行環境整備

■ 広域サイクリングルートでの走行環境整備

事例 1



着手前



着手後

事例 2



着手前



着手後

■ サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要創出支援補助金（サイクルバス・サポートカー等の導入）

- これまで整備を進めてきたサイクルステーション、サイクリストに優しい宿等の受入環境を活かし、サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要を喚起するフェーズに進める必要がある。
- このため、民間事業者が旅行商品の造成を促進するために行う新規事業開発を支援する。



【西鉄サイクルバス「サイクルカーゴ」】



みやこ観光まちづくり協会
(電動アシスト自転車3台導入)



糸島市観光協会
(電動アシスト自転車5台導入)



インカムイメージ
(出典：シクロワイアードHP)

【参考】 サイクルバスを活用したツアー実施例



3. 【商品造成】台湾からのサイクリスト誘客事業

- 令和3年度に実施した台湾のサイクリストニーズ調査を踏まえ、台湾のサイクリング協会や旅行会社を招聘し、県内のサイクリングルートを実際に走行していただくモニターツアーをR4年度に実施。
- 令和5年度は、ツアー催行人数60人（KPI）を目指し、台湾の旅行エージェント等との商談を実施した。
- 令和6年度は、台湾に加え、豪州・韓国へ事業を展開していく。
- 引き続き開催されるツール・ド・九州2024を契機として、更なる誘客に取り組む。



招へい事業者	概要
中華民国自転車騎士協会	会員8万人以上のサイクリング協会
楽活単車自転車協会	会員2万人以上のサイクリング協会
生活運動行銷股份有限公司	訪日サイクリングツアー送客実績の豊富な旅行会社
雄獅旅行社（ライオントラベル）	台湾最大手の旅行会社
GIANT直営店「花蓮鯉魚潭レンタサイクルステーション」	元GIANTの製品開発担当、メカニック
就愛單車日本遊（台湾自転車たび）	「しまなみ海道」を中心に日本各地でサイクリングツアーを催行
悠図單車生活(Yaoto)	日本にてサイクリングハネムーンツアー実施経験有
LIN YU WEI氏	Facebookフォロワー約1.9万人、Instagramフォロワー約4,000人、YouTubeフォロワー約7,300人
太平洋旅行社	富裕層向け旅行会社。自転車メーカーMERIDAのツアーを手配。

3. 【商品造成】台湾からのサイクリスト誘客事業（ツアー催行状況）

福岡県サイクリングツアーの集客状況一覧表（2022年度事業+2023年度事業）

No	主催者（ツアー名）	日付	種類	方面	県内滞在日数	企画人数	参加人数（2024年3月現在/催行済）
1	中華民国自転車騎士協会：「小倉競輪祭X福岡県サイクリング」ツアー	2023年11月21日～23日	団体	小倉競輪祭、関門海峡、志賀島	3	30	31
2	生活運動 x 雄獅旅行社「福岡、北九州サイクリングツアー」	2023年11月17日～21日	団体	志賀島、芦屋、直方、門司港、下関、角島	4	18	-
3	小D(インフルエンサー) x 晴天旅行社「福岡、別府温泉サイクリングツアー」	2023年11月29日～12月3日	団体	別府、久留米、浮羽、秋月、小石原、英彦山	4	18	-
4	中華民国自転車騎士協会「九州サイクリング一周ツアー（FIT）」	2024年2月20日～3月5日	FIT	九州一周	3	6	5
5	生活運動：「福岡、北九州、山口サイクリングツアー」	2023年10月3日～10月7日	団体	志賀島、芦屋、門司港、角島、平尾台、小倉	4	18	-
6	生活運動 x Doris(インフルエンサー)：「熊本、福岡サイクルツアー（FIT）」	2023年12月2日～12月6日	FIT	海の中道海浜公園、志賀島、熊本天草	2	3	3
7	小D（インフルエンサー）：「FIT向けツアー企画」	2023年4月～6月	FIT	浮羽、志賀島	6	最大20名	6
8	Crank Punk：「福岡県マウンテンバイクコース企画」	2023年12月～	FIT/団体	五ヶ山、糸島、脊振山、志賀島	5	最大20名	-
9	株式会社ティフィリッド主催ツアー：「糸島、志賀島FITツアー」	2023年12月～2024年2月	FIT	糸島、海の中道海浜公園、志賀島	2	最大15名	12
10	中華民国聯合總會主催ツアー：「海の中道海浜公園、志賀島ツアー」	2024年2月24日～25日	FIT/団体	海の中道海浜公園、志賀島	2	10	10
2023年度事業催行人数合計：						最大158名	67
2022年度事業催行人数合計：						最大163名	85
2ヶ年総合計（※年度を跨いでいるツアーがあるため）：						最大321名	152

3. 【商品造成】台灣からのサイクリスト誘客事業

生活運動行銷股份有限公司作成
プロモーション動画

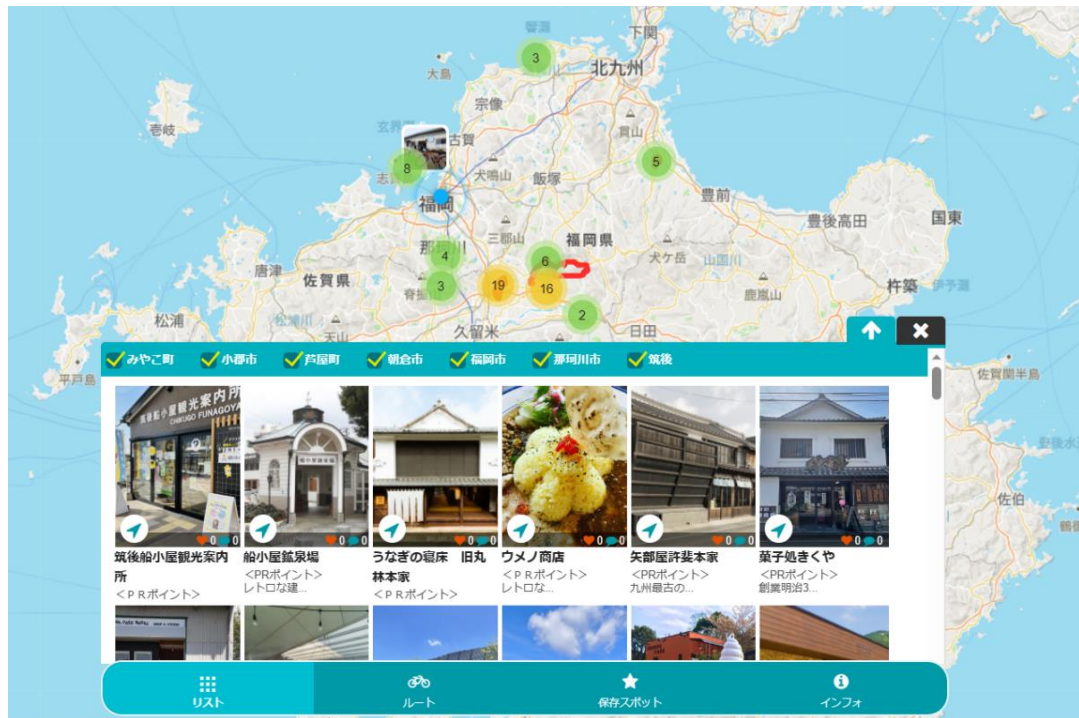


LIN YU WEI氏作成
プロモーション動画

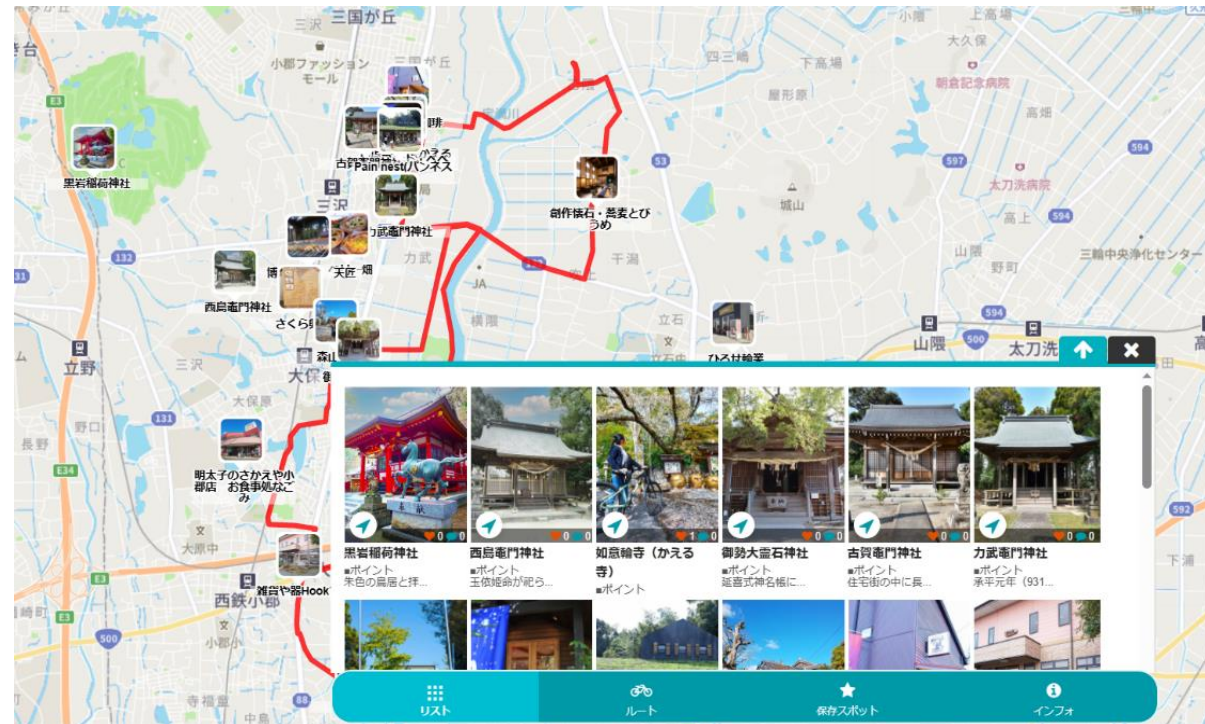


3. 【商品造成】市町村独自ルートでのデジタルマップ化

- 福岡県にあるサイクルルートを活かして快適に周遊できるように、市町村が独自に設定したサイクルルートやその周辺の観光情報を掲載するデジタルマップを令和4年度に導入（令和4年度掲載：1県+6市町、11ルート、74スポット）
- 今後、デジタルマップへの掲載を充実させ、プロモーションやスタンプラリー等の誘客イベント実施に活用する。



ルート掲載の画面イメージ



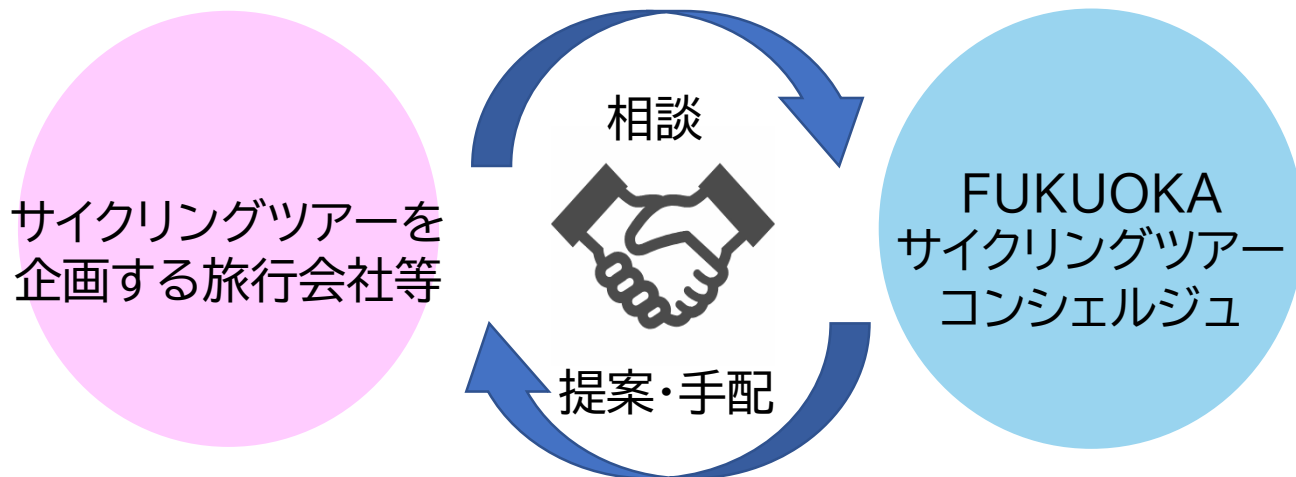
小郡市でのデジタルスタンプラリー

福岡県サイクルツアーリズムマップ
<https://unlocks.jp/w/?id=w70963d64df7195d0>



3. 【商品造成】サイクリングツアーコンシェルジュ事業

- これまで取り組んできたサイクルカーゴやサイクリングガイド等を活かし、サイクリングツアーを企画する旅行会社や団体等に対し、ワンストップの支援体制を構築し、令和6年10月10日から全国で初めて運用を開始。



ツアー用レンタサイクルで福岡を駆け巡ろう！

福岡県内では、観光地で利用できるレンタサイクルは各市町村観光協会などで提供されていますが、「複数日にわたるツアーで利用できるレンタサイクル」をどこで予約したらよいかわからない、という声をいただいていた。そこで「FUKUOKAサイクリングツアーコンシェルジュ」では、ツアーを企画する旅行会社やグループのご要望に応じて、複数日で予約でき、指定の場所に配送・回収するサービスを開始します！

- 【～2024.12】
 - ◇予約方法：電話（080-8733-2029）、専用メール（contact@fukuoka-cyclingtour-concierge.jp）で受け付けます。
 - ◇決済方法：レンタサイクル保有事業者指定の方法で支払い
- 【2025.1～】※予定・準備中
 - ◇予約方法：専用のシステム経由で予約
 - ◇決済方法：専用のシステム経由で決済（クレジットカードによる支払）または請求書支払



FUKUOKAサイクリングツアー
コンシェルジュ特設サイト

ルート設定



宿泊施設



レンタサイクル



サイクリングガイド



サポートカー



輪行



◆ SNS運用



- フィード投稿：週2回程度
- リール投稿：福10ルート内容投稿
- ストーリーズ：フィード投稿
メンション投稿のシェア

◆ 情報誌掲載

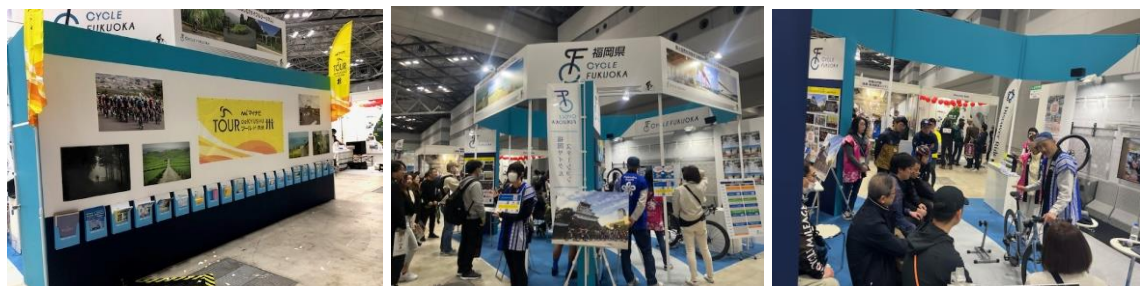
クロスロードふくおか



◆ サイクルモード東京への出展

日時：令和6年4月6日（土）～7日（日）

会場：東京ビックサイト



Web版「Cycle Sports」との連携強化



など

◆ CYCLE AND TRAIL FUKUOKA SNS運用

フォロワー数推移



Facebook

2023年 5月時点：1,815

▶ 2024年 3月：**1,870**



Instagram

2023年 5月時点：6,246

▶ 2024年 3月：**6,624**

リーチ数^(※)推移

※リーチ数：コンテンツを見た人数



Facebook

平均値：**7,234**

中央値：**7,663**



Instagram

平均値：**32,370**

中央値：**33,349**

インプレッション数^(※)推移

※インプレッション数：投稿が表示された回数



Facebook

平均値：**7,553**

中央値：**7,856**



Instagram

平均値：**40,807**

中央値：**43,320**

エンゲージメント数^(※)推移



Facebook

平均値：**1,254**

平均エンゲージメント率 **17.29%**



Instagram

平均値：**3,172**

平均エンゲージメント率 **10.02%**

※エンゲージ率：リーチに対してエンゲージメントがあった率

※エンゲージ数：コンテンツにいいねする、コメントする、保存するなどアクションを起こした数

今後のビジョン…2024年度 **10,000** 人突破！

雑誌とwebの連動企画

雑誌版

タイトル：“フクオカ”を楽しみ尽くす絶景ルート10
掲載誌：Cycle Sports 2023年12月号
発売日：2023年10月20日
ページ数：カラー6ページ



▲掲載号表紙



クロスロードふくおか内特集記事として7つのコンテンツを納品

1. スポーツ自転車用ヘルメットの正しいかぶり方

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_helmet

ヘッドライン

【サイクル福岡】スポーツ自転車用ヘルメットの正しいかぶり方

道路交通法の改正により、2023年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメットの着用が努力義務化されました。ロードバイクやクロスバイクなどのスポーツ自転車でサイクリングするときにも、もちろんヘルメット着用は必須。しかし、正しくかぶれていない人が多いようです。そこで、ヘルメットの正しいかぶり方の手順やセッティングについて、あらためて確認しましょう。

アイキャッチ



2. 自分でできる！スポーツ自転車パンク修理の基本

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_punc

ヘッドライン

【サイクル福岡】自分でできる！スポーツ自転車パンク修理の基本

ロードバイクやクロスバイクなどのスポーツ自転車でサイクリングするときは、パンクに対処できることが必須です。今回はロードバイクを例に、オーソドックスなチューブド（クリンチャーとも呼ばれます）でのパンク修理のポイントを紹介します。いざというときのために、日頃から練習しておきましょう。

アイキャッチ



3. ツール・ド・九州をもっと楽しもう！サイクルロードレース観戦ガイド

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_guide

ヘッドライン

【サイクル福岡】 ツール・ド・九州をもっと楽しもう！ サイクルロードレース観戦ガイド

ヨーロッパで人気のスポーツ、サイクルロードレース。日本でも数々のレースが開催されていますが、その特徴や魅力は何か、どこに注目して見ればいいのか、よく分からない…という人も、まだまだ多いかもしれません。そこで、10月6日（金）の「マイナビツール・ド・九州2023」開幕を前に、サイクルロードレースという競技の特性や、見どころを紹介します。

アイキャッチ



4. 簡単・楽ちん！西鉄のサイクルトレインに乗ってみた

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_train

ヘッドライン

【サイクル福岡】 簡単・楽ちん！西鉄のサイクルトレインに乗ってみた

2022年3月、国内の大手私鉄では初めて大都市部本線の営業列車で「サイクルトレイン」の運用を始めた西日本鉄道（西鉄）。自転車を折りたたまず、そのまま車内に持ち込める手軽さが好評で、サイクリングの楽しみがぐんと広がります。そんなサイクルトレインを利用して、うきは市までのサイクリングに行ってきました！

アイキャッチ



5. 徹底解説！ロードバイク輸行術

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_rinko

ヘッドライン

【サイクル福岡】 徹底解説！ロードバイク輸行術

鉄道などの公共交通機関に自転車を乗せて移動することを「輸行（りんこう）」と呼びます。ロードバイクなどのスポーツ自転車愛好者には、根強い人気があるスタイルです。輸行時には、自転車を分解したり折りたたんだりして、「輸行袋」という専用の袋に入れる必要がありますが、初心者にはハードルが高く、また何回やっても苦手！という人も多いようです。

そこで、現在主流となっているディスクブレーキロードバイクと、最もオーソドックスな鞍型輸行袋を使った輸行の手順とコツを紹介します！

アイキャッチ



【サイクル福岡】 徹底解説！ロードバイク輸行術

6. サイクルイベントに参加しよう！

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_event

ヘッドライン

【サイクル福岡】 サイクルイベントに参加しよう！

自転車の楽しみ方は千差万別。自由気ままなおひとり様サイクリングももちろん魅力的ですが、サイクルイベントに参加して、非日常的な盛り上がりを経験してみませんか？

アイキャッチ



【サイクル福岡】 サイクルイベントに参加しよう！

7. ダムサイクリングのすすめ

https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/cycle_dam

ヘッドライン

【サイクル福岡】 ダムサイクリングのすすめ

山がちで川の流れが急な日本。降った雨は川をせっかちに流れ、すぐに海へ注いでしまいます。大切な水を生活や産業に利用し、洪水を防ぐために欠かせないのがダム。日本には約3,000のダムがあり、人々の暮らしを支えています。

そうしたダムを見に行く「ダムツーリズム」が密かな人気です。サイクリングのテーマとしてもダムは格好の存在。福岡県は、街とダムがある山地が近いので、多くのサイクリストがダムめぐりを楽しんでいます。次の休日にいかがですか？

アイキャッチ



各エリアのダム周遊サイクリングのコース提案



ダムサイクリング①ます測ダムと平尾台カルスト



ダムサイクリング②あさくら3ダム



ダムサイクリング③廃線跡の道と日向神ダム



ダムサイクリング④新たな聖地・五ヶ山ダム

クロスロードふくおかに各種イベントの実走参加レポートを納品

アイキャッチ

10. 【サイクル福岡】 絶好のライド日和！北九州サイクルフェスティバル2023参加レポート

<https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/kitakyushucyclefestival>

アイキャッチ

ヘッドライン

【サイクル福岡】 絶好のライド日和！北九州サイクルフェスティバル2023参加レポート

北九州市の観光名所を自転車で駆け抜け、ご当地グルメやスイーツをたっぷり味わうことができる「北九州サイクルフェスティバル」が、2023年11月19日に開催されました。楽しみ方に合わせて選べる3コース（30km/60km/100km）の中から、100kmコースに参加した様子をレポートします。



ヘッドライン

【サイクル福岡】 有明海を自転車で一周！「アリティ」レポート

福岡県大牟田市をスタートし、佐賀、長崎、熊本と九州4県をまたいで有明海沿岸を一周するサイクルイベント「サイクリング arichi2023」（通称アリティ）が、2023年10月8日に初めて開催されました。



10. 【サイクル福岡】 絶好のライド日和！北九州サイクルフェスティバル2023参加レポート

<https://www.crossroadfukuoka.jp/feature/kitakyushucyclefestival>

ヘッドライン

【サイクル福岡】 絶好のライド日和！北九州サイクルフェスティバル2023参加レポート

北九州市の観光名所を自転車で駆け抜け、ご当地グルメやスイーツをたっぷり味わうことができる「北九州サイクルフェスティバル」が、2023年11月19日に開催されました。
楽しみ方に合わせて選べる3コース（30km/60km/100km）の中から、100kmコースに参加した様子をレポートします。

アイキャッチ



web版Cycle Sportsにて実施

タイトル：今年初開催！マイナビ ツール・ド・九州2023コース徹底解説

URL：<https://www.cyclesports.jp/topics/99841/>

投稿日：2023年9月11日

2023年10月6日(金)～9日(月・祝)の4日間で初開催されたマイナビ ツール・ド・九州2023。福岡県、熊本県、大分県の九州3県が舞台となるコースの詳細を福岡県在住で自転車と地域の魅力を発信するインフルエンサーBekiさんをモデルに紹介するとともに、VC FUKUOKAの佐藤信哉監督にレースの見どころを予想してもらった。

アイキャッチ画像



クロスロードふくおか・YouTubeにて動画公開



動画は左記QRコードからご覧ください



5. 【九州・山口サイクルツーリズムの推進】推進委員会の取組

- 平成30年度から、九州・山口各県、経済界と連携し、九州・山口が「走ってよし、訪れてよし」の魅力的なサイクリングエリアになることを目指し、県域を跨ぐ広域推奨ルートを設定をはじめとする取組を実施している。
- 2024年ツール・ド・九州、サイクリングアイランド九州開催に向けて、機運を醸成するとともに、ナショナルサイクルルートの指定に向けて各県で協調して受入環境整備を促進。

【事業推進フェーズ】

**第Ⅰ段階
(2019～2020年度)**

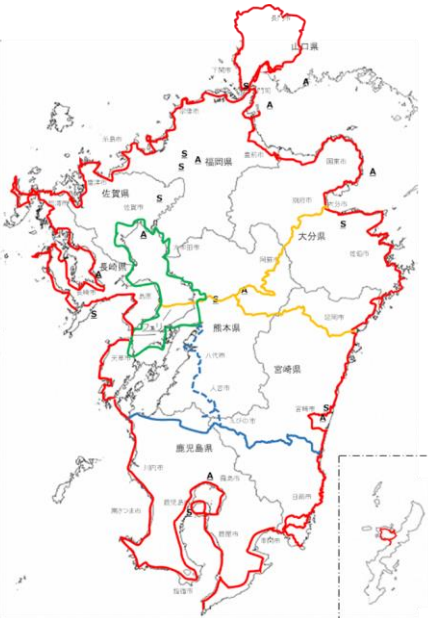
広域推奨ルートの設定

**第Ⅱ段階
(2021～2022年度)**

広域推奨ルートの受入環境整備
サイクルマップ等の情報発信

**第Ⅲ段階
(2023年度～)**

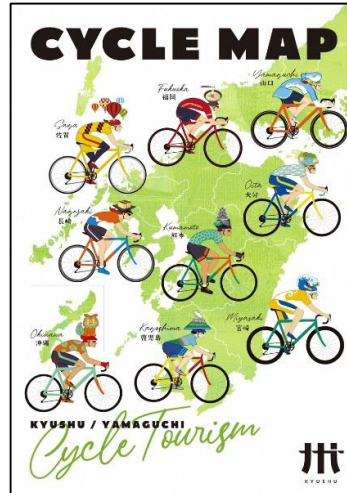
旅行商品造成をはじめとした
サイクルツーリズムの推進



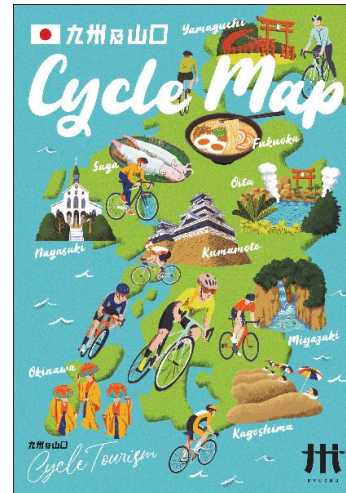
ルート名	
■	九州・沖縄・山口一周ルート
■	九州北部横断ルート
■	九州南部横断ルート
■	有明海一周ルート

九州山口の広域推奨ルートに活用した
本県の広域サイクリングルート

- 九州・沖縄・山口一周ルート
 - 福岡・糸島ルート（一部）
 - 志賀島・宗像・直方ルート（一部）
 - 芦屋・北九州・京築ルート（一部）
- 有明海一周ルート
 - 那珂川・大牟田ルート（一部）



日本語版サイクルマップ



繁体字版サイクルマップ
(台湾旅行泊で配布)

ナショナルサイクルルート指定に
向けた取組の推進

- ・アクションプラン策定
- ・各県が協調し受入環境・走行環境整備を推進

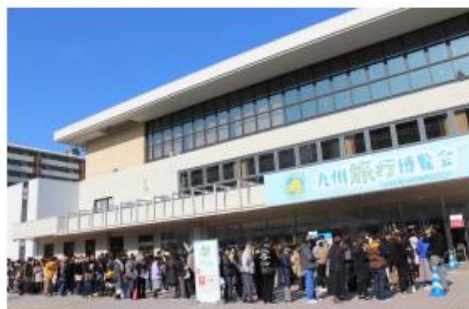
2023年～（毎年開催）
ツール・ド・九州
サイクリングアイランド九州
（旧ディスカバー九州）開催

5. 【九州・山口サイクルツーリズムの推進】推進委員会の取組

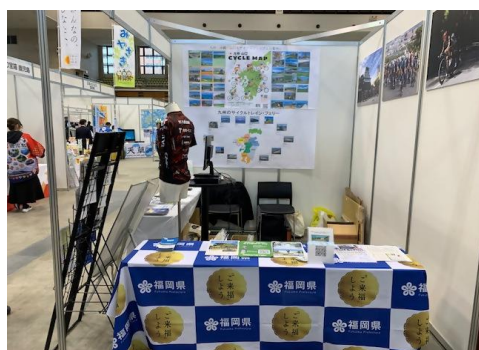
- 令和5年度に九州旅行博覧会に出展してディスカバー九州周知と併せて10ルートの特ラシ等を配布した。
- 令和6年度は九州旅行博覧会に加えて域内外のサイクリスト誘客するため、知名度が高く発信力のある「るるぶ」を活用してスタンプラリーを開催予定。

【九州旅行博覧会】

日 時：令和6年2月24日（土）～25日（日）
 会 場：福岡国際センター（福岡市博多区築港本町2-2）
 出 展：航空会社、各地方自治体、施設・旅行者・観光関連団体等
 来場数：2日間合計1万人（R5実績：約1.1万人）
 入場料：無料



【会場の様子】



【出展ブース】

【るるぶFREEを活用したスタンプラリー】

実施期間：令和6年7月12日～令和7年3月16日（案）
 発行予定日：令和6年6月30日
 発行部数：5万部
 配布予定先：主要観光施設、観光案内所、道の駅、NEXCO西日本主要サービスエリア、自転車ショップ含む西日本一円
 その他：福岡県スポット紹介のページで福岡県サイクルツーリズムマップを紹介予定



冊子PR+スマホスタンプラリーイベント開催



読者が参加しやすい・わかりやすい
 アプリ無し・簡単登録のシステム
 GOOGLEMAP連携誘導

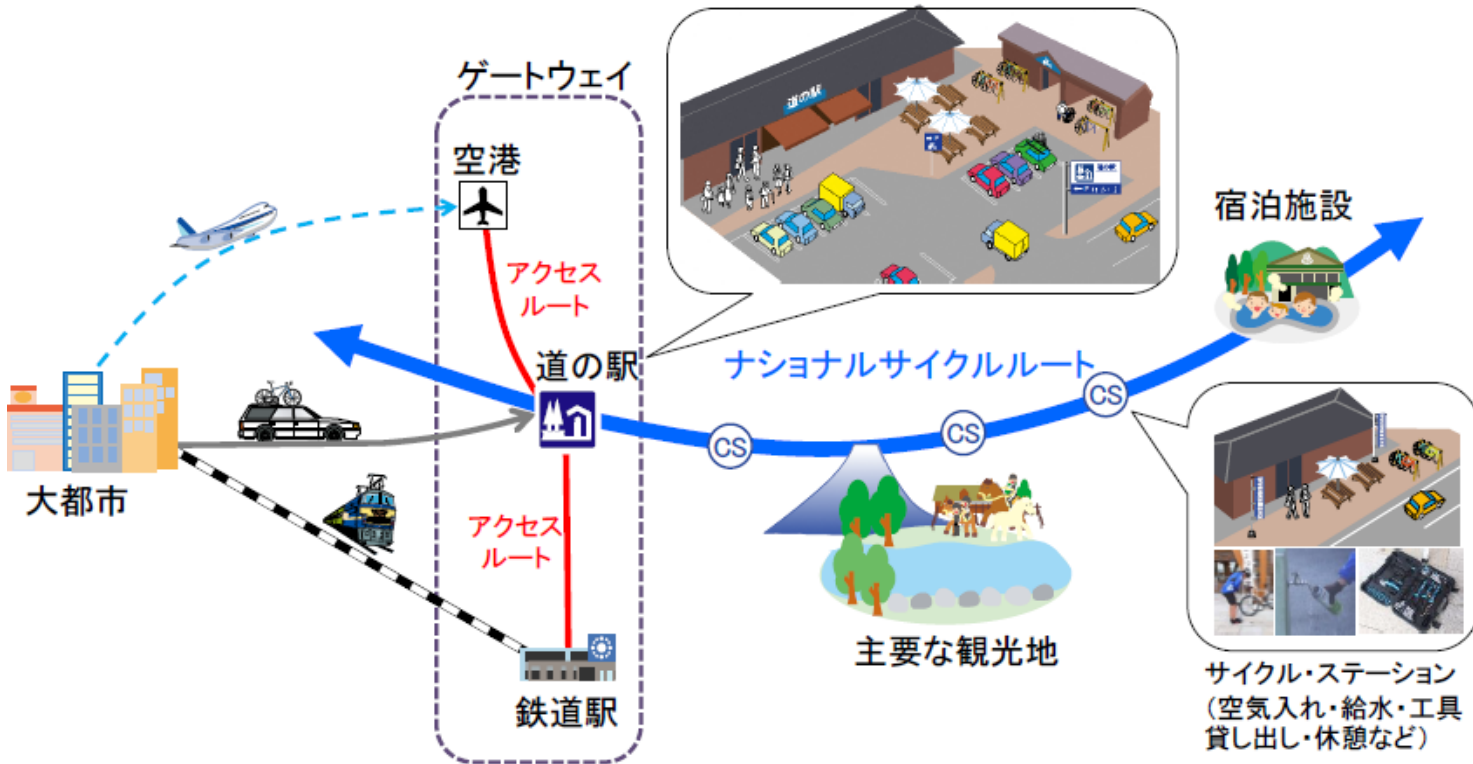


【掲載イメージ】

5. 【九州・山口サイクルツーリズムの推進】 ナショナルサイクルルート 指定に向けた取組

- ナショナルサイクルルートは2019年に導入された、「日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルート」を指定する制度
- 現在までに、「しまなみ海道サイクリングロード」、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」、「太平洋岸自転車道」等6つのルートが指定を受けている。各県が連携して受入環境整備を進め、「九州・沖縄・山口一周ルート」がナショナルサイクルルートに指定されることを目指す。

ナショナルサイクルルートは複数自治体を跨ぎ、主要な観光地を連絡する延長100km超のロングライドルート进行想定。ルート近傍の主要アクセスポイントである空港、鉄道駅、道の駅等に、サイクリストの受入施設となる「ゲートウェイ」を整備することが必要。



5. 【ツール・ド・九州の推進】 ツール・ド・九州の概要

- 「ツール・ド・九州」が2024年10月に開催される。
- 「ツール・ド・九州」は、①国際サイクルレースである「ツール・ド・九州2024」、②サイクリング周遊型旅行商品「サイクリングアイランド九州」の総称。
- サイクリングアイランド九州は、ツール・ド・九州2024開催期間を中心に、年間を通して開催。

国際スポーツ大会であるUCI（*）認定サイクルレースと、九州・山口サイクリング周遊型商品を同時期に展開する、総合型サイクリングイベント。

* U C I = United Cycle International/国際自転車競技連合

ツール・ド・九州		
名称	ツール・ド・九州2024	サイクリングアイランド九州（旧ディスクカバー九州）
形態	UCI認定の国際サイクルレース	サイクリング周遊型旅行商品
参加者	約160名（招聘選手・スタッフ）、 約500名（ファンライド）	300名（海外200名/国内100名）
目的と役割	○観客動員による経済波及効果 ○サイクルスポーツ人口の底上げ ○スポーツツーリズムの推進 ○対欧米マーケットへの情報発信	○国内及び海外を対象とした九州・山口・沖縄のサイクリング周遊型旅行商品の造成・販売 ○国内外のサイクリストへの情報発信、旅行商品販売を通して、九州・山口・沖縄の魅力を発信
実施主体（事務局）	「ツール・ド・九州2024」実行委員会 （一般社団法人ツール・ド・九州）	「サイクリングアイランド九州」実行委員会 （一般社団法人九州観光機構）

5. 【ツール・ド・九州の推進】サイクリングアイランド九州商品の概要

- 令和5年2月28日から、国内向け旅行商品（41商品、福岡県内6商品）の販売を開始。
- 欧米豪、アジア向け商品は、サイクリングアイランド九州実行委員会事務局が委託した事業者が、各国の旅行会社などと商談を進め、BtoBで販売。

インバウンド市場向け商品ラインナップ：欧米 Inbound

Volcanos and Ocean (SANKAI 山海) Course

販売価格（概算） ※国際航空券含まず	720,000円～
旅行日数	11泊12日（前泊含む）
最少催行人員 （最大募集人員）	2名～（8名）
設定時期	秋：7-11月 春：3-5月
商品内容公開 （セールス開始時期）	4月～

世界的に有名な温泉、緑豊かな森、滝、さらには日本の伝説を生み出した九州の火山を駆け抜けます。喧噪から離れて、最高の九州を体験してください。



インバウンド市場向け商品ラインナップ：アジア Inbound

North Kyushu 2

販売価格（概算） ※国際航空券含まず	300,000円～
旅行日数	7泊8日（前泊含む）
最少催行人員 （最大募集人員）	4名～（12名）
設定時期	春：4-5月 秋：9-11月
商品内容公開 （セールス開始時期）	3月～

Day2	志賀島、宮地嶽神社、宗像大社
Day3	宗像の芦屋サイクリングロード、りんりんクラブ、小倉城、門司港、北九州空港連絡橋
Day4	宇佐神宮、国東半島、別府温泉、地獄めぐり
Day5	由布岳、湯布院、やまなみハイウェイ
Day6	黒川温泉、小国、原鶴温泉
Day7	久留米ラーメン、サイクルトレイン



公式サイト



福岡博多歴史ライド

船小屋鉱泉と八女茶を楽しむポタリングライド

平尾台カルストを探访するダウンヒルライド

海と川の自然を巡る宗像直方ライド

小京都秋月を巡る歴史ライド

蒙古襲来、いにしへの戦いの史跡を巡るライド

左上：欧米豪向けモデルプラン例
 左下：アジア向けモデルプラン例
 上：募集中の国内向け商品

【参考】リンリンクラブ岡垣の整備

- 県道遠賀宗像自転車道沿い、岡垣町観光ステーション『北斗七星』横に、サイクリストの休憩所『リンリンクラブ岡垣』を整備。※県土整備部事業として整備。令和4年5月15日から供用開始。
- 『リンリンクラブ岡垣』を新たなサイクルツーリズムの拠点として活用し、遠賀宗像自転車道の更なる活性化を図る。



本県の広域サイクリングルート(10ルート)

- | | |
|-----------------|--------|
| ① 福岡・糸島ルート | 約78km |
| ② 直方・宗像・志賀島ルート | 約90km |
| ③ 北九州(門司)・芦屋ルート | 約44km |
| ④ 北九州(門司)・京築ルート | 約89km |
| ⑤ 筑豊周遊ルート | 約110km |
| ⑥ 豊前・東峰ルート | 約61km |
| ⑦ あさくら・大刀洗周遊ルート | 約73km |
| ⑧ 久留米・うきは周遊ルート | 約77km |
| ⑨ 筑後周遊ルート | 約55km |
| ⑩ 那珂川・大牟田ルート | 約86km |

